



# 迎年の辭

水野鍊太郎

年又新にして茲に昭和十五年即ち皇紀二千六百年の新春を迎ふるに當り、謹んで聖壽の萬歳を壽き奉り、併せて國運の隆昌を祝福する。

日支事變勃發して實に二歳有半を経過し愈々肇國以來の最大長期戰に逢着した。興亞新建設の過程を歩一歩進みつゝある情勢となつた。而かも獨逸はポーランド侵略に因つて英佛と戰爭を開始し、ソ聯は芬蘭土を攻撃し、遂に歐羅巴は第二次大戰に進展するの勢を呈して世界の情勢を一變し、大なる混亂と動搖へと導くことゝなつた。従つて我國も世界の變移し行く情勢を検討しつゝ、外交に經濟に軍備に内政に關する諸問題を解決しなければならぬ。換言すれば國內の新なる秩序を整へて東亞新秩序を建設し、世界的平和の指導者の位地を獲得しなければならぬことゝなつた。此の

稀有の複雑怪奇なる國際關係と深刻化し行く我國戰時經濟狀態とに直面したる吾人は、全力を傾倒して之に善處しなければならぬ。

○  
 今や我國多難の時局に際し將來の隆替亦實に國民の覺悟如何に繋るものゝ極めて多きものあるを思ひ、不動の國是に基きたる政策に即應して各般の企劃を立て、軍備の充實、資源の開發、産業の擴充を圖らなければならぬことを痛感する。仄聞する處に依れば政府また此に鑑みる所があつて、國防費に、資源の開發費に、將又産業の擴充費に、尨大なる豫算を編成するの已むを得ざることゝなり。其の總額實に百三億餘圓の巨額に達すと。財務當局の苦心は察するに餘ある所である。

○  
 資源の開發、産業の擴充上、必須的施設たる道路の改良、鋪裝の普及に關し、内務當局は之が經費三千九百六十一萬八千餘圓の計上を要求する所あり、吾人亦之を贊して政府當局に建言する所ありたるが、財務當局は其の計畫を理解し、一千八百四萬八千餘圓を査定せりと。我國財政の現狀に照して、また已むを得ざる措置である。此の豫算が成立し、其の執行に當りては、技術方面は勿論事務方面に於ても、深甚なる注意と慎重なる心構を以て事に任じ、經費の節約に、材料の撰定に、亦嚴密なる施工に遺

算なきを期して、大なる効果を收むることに努力せられんことを望むものである。

東亞經濟プロツクの結成に對應し、航空に海運に陸運に、日滿支協同的交通運輸の大陸的政策の確立を見るに至らば、國府縣道の全面的改良鋪裝は勿論人體に於ての毛細管の如き機能を有する八十万八千餘軒に互る市町村道に對し、根本的調査を遂げて之を整理し改良鋪裝を施すが、次に來るべき道路政策の重要な案件なりと思惟す。若し夫れ此の道路政策にして實現するに至らば、道路の機能は十二分に發揮せられ、國防に産業に資源開發に國運の進展上一時代を劃するに至らんことを俟たない所である。

要するに皇紀二千六百年を迎へて、吾人は我國民としての重大なる使命に對する自覺を新にし、二十有餘年間努力し來りたる我國道路の完成に向つて、日新の意氣を以て更に一段と邁進せんことを期する次第である。